

人間科学部 心身健康科学科 科目一覧表 2024年度生版

※受講年度により開講科目・科目名、概要等は変更になる場合があります。

科目群分類		科目名	概要	
科学的思考の基礎	科学的思考の基礎	探究への学び	組織（チーム）の活動を支援し、成果の質が上がるよう舵取りする総合スキルである「ファシリテーション」を身につける	
		みずほ学	大学や学園の姿を、様々な角度から考察、大学の歴史や教育活動だけでなく、大学周辺の街の歴史や文化、経済などを学ぶ	
		プレゼミⅠ	大学の教育活動の理解から卒業に向けた学修像を考える	
		プレゼミⅡ	グループでの調査・研究活動により、自発的な課題解決の方法を学ぶ	
		ロジカルシンキング（思考）	論理的な思考についての理解とトレーニングで、ロジカル（論理的）に考え、整理し、相手に伝える力を学ぶ	
		ロジカルプレゼンテーション	ロジカル（論理的）に伝え伝える方法としてのプレゼンテーション（表現、提示、紹介）を理解し、トレーニングで身につける	
		心を知る	人間関係と倫理学	“善い”生き方・“正しい”生き方とは何かを考える
			人間と社会	多様な人々が暮らす社会を理解する
			人間と美術	生活の中に美術が関わっていることを理解する
			人間と音楽	人間と音楽のかかわりや、音楽の影響について学ぶ
			はじめての心理学	人間行動の心理学的な理解のあり方について考察する
			心理学概論	心理学の入門として、科学的心理学の全体像（領域ごとの特徴、歴史、研究方法）を講義形式で学ぶ
			心理学入門	心理学の成り立ちから、行動の背景にあるところの仕組みや働き等について、多角的な視点から考える
		社会を知る	日本国憲法憲法	日本国憲法を学び、社会の在り方について考える
現代社会のマネジメント	実社会の「なぜ？」を「なるほど！」に変換できることを目指す			
社会で役立つ数学	論理的に先を見通したり、柔軟な考え方や発想力を身につけるための数学的思考を学ぶ			
生物調査法	生態系や自然現象を科学的に調査する方法を理解する			
社会生活と法	社会生活に関係する民事法と刑事法について基本的な知識を得て、これを元に社会倫理・生命倫理と法が関連する諸問題について学ぶ			
現代社会の構造と問題	社会を理解する基礎を学び、現代社会の諸問題を多様な視点から分析する			
文章表現(国語)	文章作成を通して「国語」としての日本語の特徴と日本語を基盤とする文化への理解を深め、同時に言語活動全般におけるリテラシーを向上する			
ESD入門	ESDおよびSDGsについて学び、グローバルな諸課題と自分自身および身近な環境との関係性について理解し、持続可能な社会づくりにつながる自らの行動について考える			
共生文化論	多文化が混雑し共生する社会への知見を深める			
市民社会論	市民が主体的に地域づくりに参加し取り組む「市民社会」について、仕組みや制度、地域の動向、調査方法を体系的に学ぶ			
身体を知る	健康へのアプローチ		健康についての基礎的なことを学び、健康についての理解を深める	
	笑い健康		「笑い」を上手に日常生活の中に取り入れ、より良い人間関係や健康を高める方法を修得する	
	健康生活		「健康に生きる」ための知識、技術、態度について考える	
	健康と栄養	健康における栄養の役割について理解を深める		
	野外活動・レクリエーション実践(バドミントン)	スポーツを楽しみ心身の健全な活動を体験する		
	野外活動・レクリエーション実践(バドミントン)	スポーツを楽しみ心身の健全な活動を体験する		
	野外活動・レクリエーション実践(テニス)	スポーツを楽しみ心身の健全な活動を体験する		
	野外活動・レクリエーション実践(卓球)	スポーツを楽しみ心身の健全な活動を体験する		
	野外活動・レクリエーション実践(サッカー)	スポーツを楽しみ心身の健全な活動を体験する		
	ニュースポーツ実践	楽しんで身体を動かすことができる新たなニュースポーツの企画する		
Yoga	心身のリラクゼーションを学んで、自分自身の「健康」「身体」を理解する			
健康を創る実践力形成科目	コミュニケーション	韓国語入門	韓国語の発音、文字、文法を学ぶ	
		中国語入門	中国語の発音、文字、文の基礎を学ぶ	
		英語コミュニケーション(入門)	旅行の際に使える基本表現を学ぶ	
		英語コミュニケーション(初級会話)	会話力の向上を目指す	
		英語コミュニケーション(中級会話)	様々な状況で必要な英語力を習得する	
		英語コミュニケーション(上級会話)	世界に通用するコミュニケーションを学ぶ	
		英語講読(基礎)	専門分野の書籍や論文を読むための英語力を培うため様々な分野の英文を読み、長文を読むことに慣れ、読解力の基礎を身につけることを目指す	
	英語講読(応用)	専門分野の書籍や論文を読むための英語力を培うため様々な分野の英文を読み、長文を読むことに慣れ、読解力の基礎を身につけることを目指す		
	サイエンスデータ	情報リテラシー	社会で求められる情報リテラシー（情報活用能力）の基盤要素である「問題を発見し解決を思考する枠組み」、「情報社会の有効性と問題点を認識し、主体的に判断するための知識や態度」、「情報通信技術に関する科学的な理解や技能」を身につける	
		はじめての情報活用	Windowsの基本操作、知っておくと便利な活用方法、ちょっとしたトラブルの対処方法を身につける	
		データサイエンス	AIを含めたデータの利活用の有用性を理解し、活用のための基礎的な能力と心得を身につける	
		統計学入門	統計学の初歩となる、データの型と記述統計、統計学的検定法の概要、分散分析、相関と回帰、その他の手法をグループワークを織り交ぜながら、用語の定義やコンセプトを習得する	
		統計学概論	統計学のデータの型と記述統計、統計学的検定法の概要、分散分析、相関と回帰、その他の手法をグループワークを織り交ぜながら、演習を行い実践する	
	キャリア	リフレクティブラーニング（PDCA）	何に取り組むべきかを自分で決め、どうすればうまくいくかを考え、実践し、結果を評価したうえで、次にどうすべきかを定めるプロセスを練習する	
産業・組織と人間行動の理解		産業・組織と人間行動について心理学的知見から検討する		
キャリア発達心理学		自分自身のキャリアについてパースペクティブを持つ		
アントレプレナーシップ入門		経営者や起業家の話を聞き、企業や経営に纏わる体験やリアルなエピソードを通して、社会でどのような選択肢があるのかを学ぶ		
キャリアデザイン理論		自分自身のキャリアをデザインする		
社会領域	心身の健康（病気のけがとその予防）	キャリアデザイン実習	インターンシップ体験を通じて、業界研究、自己分析、社会人のマナーを身につける	
		キャリアデザイン演習	働く時の法律や生活するためのお金など、社会の仕組みを理解する	
		教育原論	教職課程科目・教育に関する基礎教養を身につける	
		心身健康論	健康な生活を送るための心身の健康に関する最新の知識を理解する	
		行動科学概論	行動や心をそれぞれの領域で行動や心をどのようにとらえてきたかを理解する	
		救急処置法	救急蘇生法の技術を習得しその原因となる突然死に関連した原因・予防について学ぶ	
		レクリエーション概論・実践	レクリエーション活動やレクリエーションスポーツの実践（計画、実施、まとめ）を通して効果的な指導法と実践力について学習する	
		健康実践		
		公衆衛生学(疫学を含む。)	住民の疾病予防や健康の維持・増進を目指すことを目的として、わが国の健康を支える法律や医療システムを理解する	
		精神保健Ⅰ	心の発達と精神疾患を中心に心の健康について学ぶ	
		精神保健Ⅱ	いじめ、不登校、自死など家庭、学校、職場など現代社会の心の問題から心の健康を学修する	
		社会調査法	社会現象に関わるデータの収集方法や分析の仕方を学び、社会を科学的にとらえる力を養う	
		教育心理学	教職課程科目・学習・教育に関する心理学的理論、学校現場における心理学を学ぶ	
		教育相談(カウンセリングを含む。)	教育相談に関する知識を身につける。学校現場での相談の在り方について学ぶ	
教育行政	教職課程科目・教育行政に関する基礎教養を身につける			
教育史	教職課程科目・教育史に関する教養を身につける			
社会心理学	身近な対人関係におけるエピソードをもとに、社会心理学的なプロセスの特徴や影響について学び、社会関係や対人行動のあり方について考察する			
健康・医療心理学	幅広い年代のメンタルヘルス問題、ライフスタイルの改善等、心身の健康に関する心理学を学ぶ			
人間関係論	総合人間学の観点から人(実存)の構造を理解していくことで、他者との関わり方を考え、人と人の繋がりを調和的認知でとらえていく			
健康スポーツ科学	健康・スポーツ科学に関連する幅広い分野の研究によって得られた知見をどのようにフィットネス・スポーツ現場で応用するかを議論する			

科目群分類		科目名	概要
身体領域	健康・栄養学	解剖・生理学(人体の構造と機能及び疾病Ⅰ)	人の健康・保健について考える上で土台となる人体の構造と機能について学ぶ
		病気の成り立ち(人体の構造と機能及び疾病Ⅱ)	疾患の内因と外因、予防法や治療法を学び、多様な健康社会についても学ぶ
		栄養学入門(食品学を含む。)	生きることと食品、栄養と健康の関係について基礎的なことを学ぶ
		健康栄養学	3大栄養素やからだの調子を整えるミネラル・ビタミンと健康の関係について、含有する食品や実際の生活のなかの事例、健康問題を取り上げながら基礎的な理解を深める
		ライフステージと病気予防の栄養学	ライフステージにおける食生活の課題やQOL向上のための食生活について学ぶ
		生活習慣病論	生活習慣病の発症要因、各疾患について学ぶ
		健康管理学概論	地域保健、学校保健、産業保健における健康推進対策について理解する
		栄養診断演習	自分や家族の食生活を適切に改善するための知識と方法を学ぶ
	健康とスポーツ	野外活動基礎実習	野外で行うレクリエーションの要素を含んだゲームを体験・考察すると同時にキャンプ活動の基礎的技術を学び、総括としてこれらを組み合わせたキャンプ実習を行う
		体育実技(水泳)	各種目の基本を学び、指導方法を身につける
		体育実技(剣道)	各種目の基本を学び、指導方法を身につける
		体育実技(球技Ⅱ)	各種目の基本を学び、指導方法を身につける
		体育実技(器械運動)	各種目の基本を学び、指導方法を身につける
		体育実技(陸上)	各種目の基本を学び、指導方法を身につける
		体育実技(球技Ⅰ)	各種目の基本を学び、指導方法を身につける
		体育実技(ダンス)	各種目の基本を学び、指導方法を身につける
		スポーツマネジメント	スポーツマネジメントに求められる「人材」「物財」「財源」、「する」「みる」「支える」「知る」の視点を通してスポーツマネジメントの基礎知識を学ぶ
		運動生理学	運動中の筋や呼吸循環系の働きなど、身体運動に関連するからだのしくみを学ぶ
		運動学(運動方法学を含む。)	身体活動の仕組みを理解し、身体活動時の基礎的知識を身につける
		スポーツ社会学	スポーツが社会に伝えようとしている社会的価値観や社会学の考え方を学ぶ
		コーチング論	コーチングに対する考え方や指導方法などを学び、受講者自信が経験した・している競技や将来の指導者としての基本的な考え方を修得し、指導者としての知識の幅を広げる
		体育原理	スポーツの文化・原理の構造を外国の事例を通して学び、現代社会におけるスポーツの存在自由を考える
		ジュニアスポーツ指導論	身体面や精神面の発育発達に関する知識、それに対応する運動実施や運動促進の方法を理解する
		健康スポーツ医学(運動療法を含む。)	健康づくり、老化防止のための運動や糖尿病、高血圧などの生活習慣病予防、治療のための運動の行い方および運動障害と予防について学ぶ
		トレーニング・フィットネス論	トレーニングの原則を理解し、様々な年代、基礎体力、健康状態や性差に対応したトレーニング理論を学習する
		スポーツ指導実践	疾病の予防や改善、より健康でいつまでも活動的に生活するための安全で効果的な運動の理論と方法を科学的根拠に基づいて学ぶ
		運動生理学演習	呼吸、循環、筋活動等の生理現象を実際に把握するため、運動中の人体の生理学的応答を測定する
		トレーニング・フィットネス演習	トレーニング方法やリハビリ方法、プログラムデザインについて学び、目的に応じたトレーニングプログラムを作成できるようになることを目標とする
	体育実技(柔道)	各種目の基本を学び、指導方法を身につける	
	健康運動指導論	健康運動指導士資格取得をめざすために安全で効果的な運動プログラム作成に必要な知識を修得する	
	運動プログラムの管理(運動療法(2)を含む。)	運動療法実施前のメディカルチェックや服薬者に対する運動プログラム作成の基本項目などについて理解を深める	
	健康運動指導実習	健康運動指導士または健康運動実践指導者としての必要なスキルである運動指導の実践力獲得を目指す	
	障害者スポーツ	障がい者にとってのスポーツの意義について学び、介護予防のための運動を理解し、運動プログラムを作成できることを身に付ける	
	健康・保健・養護学	学校保健	学校保健の全体像を理解し教員(養護教諭)として組織的にどう関わっていくとよいか考える
		看護学概論	広く健康を保持増進するための看護学として、健康に影響を及ぼしているもの・考え方や生命について学ぶ
		基礎看護方法論Ⅰ	よくみられるけがや体調不良のについて基本的な知識と対応方法について学ぶ
		基礎看護方法論Ⅱ	よくみられるけがや体調不良の対応方法について実技を含め実践的に学ぶ
		薬理学概論	薬と体とのやりとりが薬の効果や副作用と密接にかかわっていることを理解する
		養護概説	概念の沿革、職務の概要を知り、学校における養護活動の実際を知識的に理解する
		ライフサイクルと健康	現代的な健康課題を学ぶことで、自らの人生を考えると同時に、健康な社会の実現のために今自分が何ができるのかを考える
		健康相談・健康相談活動	疾病異常の知識をベースにした養護教諭ならではの健康相談のために事例を知り理論と実際を学ぶ
		ヘルスアセスメントⅠ	養護教諭が教育の場において身体的な側面を評価・査定していく方法とその根拠について学ぶ
		ヘルスアセスメントⅡ	養護教諭が教育の場において身体的な側面を評価・査定していく方法を実技を含め実践的に学ぶ
		子どもの保健	心身の健康状態とその把握方法について理解し、子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する
		青少年期発達支援論	青少年期の心身の発育発達における健康課題を理解し、望ましい健康行動変容を目指す
		高齢者の保健	加齢に伴う身体・生理的、心理・社会的側面の変化や老年期に起こりやすい疾患・症候について学ぶ
	健康教育・保健室経営演習	養護実習や卒後の養護実践をイメージしながら養護教諭の役割について具体的な場面での対応を学び実践力を育成する	
社会福祉概論	一人ひとりに合った「幸せ」を実現していくため、社会福祉の基礎知識・視点を習得する		
心理領域	心理の研究法	心理学統計法Ⅰ	心理学統計法のうち推測統計について、その基礎的な考え方と分析の手順、結果の表し方を学ぶ
		心理学統計法Ⅱ	心理学統計法のうち多変量解析について、その基礎的な考え方と分析の手順、結果の示し方を学ぶ
		心理学研究法	実証科学としての心理学研究の考え方、研究方法、研究の流れ、研究倫理を講義形式で学ぶ
		心理データ解析演習	推測統計に関するデータ解析をexcelベースの統計ソフトを使用して行い、結果をまとめる方法を学ぶ
		心理学実験Ⅰ	心理学の研究法のうち、実験を中心に実際の実施、統計的分析をレポート作成を通して学ぶ
		心理学実験Ⅱ	心理学の研究法のうち、実験、観察、調査を取り上げ、実際の実施、統計的分析をレポート作成を通して学ぶ
	心理学の理論	発達心理学	乳幼児から高齢者までの心の発達に関する研究の流れと規定因、定型発達と非定型発達について学ぶ
		比較心理学	ヒトを含め現存する様々な動物種の行動を調べ、種間比較を通して心理現象の共通性と多様性を学ぶ
		心と健康の心理学	「心の健康」について、健康心理学、臨床心理学、社会心理学等の立場から理解し、自分自身の生活に活かせるようになることを目指す
		知覚・認知心理学	知覚と認知に関する現象・理論から、安全性・快適性、障害や加齢に起因する感覚機能の支援まで幅広く学ぶ
		学習・言語心理学	人を含む生物が経験により行動変容することに関する理論、言語習得や言語情報処理に関する理論を学ぶ
		社会・集団・家族心理学	個人に対する社会的要因の影響、集団内の個人間および個人と集団の関係、社会的集団などに関する心理学的理論を学ぶ
		神経・生理心理学	知覚と認知に関する現象・理論から、安全性・快適性、障害や加齢に起因する感覚機能の支援まで幅広く学ぶ
		感情・人格心理学	感情に関する諸理論、感情の測定、感情喚起の生起メカニズム、人格に関する諸理論、人格の測定、人格障害等を学ぶ
		スポーツ心理学	スポーツ心理学の基本的な理論を学習し、それがどのような技法で持って実践場面で使用されているのかを理解する
	心理学の実践	臨床心理学概論	臨床心理学全般の入門として、臨床心理学の歴史と代表的な理論および心理療法を学ぶ
		精神疾患とその治療	代表的な精神疾患の成因、症状、治療法について学ぶ
		教育・学校心理学	学習・教育に関する心理学的理論、学校現場における心理学を学ぶ
		障害者・障害児心理学	身体障害、知的障害、精神障害などの障害を抱えながら生活をしている人々の心理・行動面の特徴を学ぶ
		青年心理学	人の一生のうち、青年期の心理的特徴、青年期における精神的発達の様相と理論を学ぶ
		心理学的支援法	対人支援としての心理学的支援の理論と技法、カウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界、心の健康教育等について学ぶ
		司法・犯罪心理学	「司法・犯罪心理学」の定義と領域、研究と実務(具体例を含む)、犯罪・犯行に関する心理学を幅広い視点で学ぶ
		産業・組織心理学	キャリアの発達と形成、人事、安全管理、職場のストレスに応じた心理的支援など、組織で働く人々の心理や行動を学ぶ
	福祉心理学	職業としての福祉現場における被支援者の心理的特徴、支援者のメンタルヘルスや燃え尽き・共依存等について学ぶ	
	技能・知識	心理的アセスメント	心理的アセスメントの意義と理論、代表的な検査と実施方法や結果の解釈、記録および報告の方法を講義形式で学ぶ
		関係行政論	保健医療、教育、福祉、司法・犯罪、産業・労働等、公認心理師が活動することが想定される主要分野に係る関係法規や制度を学ぶ
		心理演習	ロールプレイを通して心理に関する支援を要する者等に対するコミュニケーション等に関する基本的な知識および技術を習得する
公認心理師の職責		公認心理師資格の概要、役割、法的義務、倫理、責務を理解し、実践に不可欠な知識と視点、考える力を養う	
心理実習		公認心理師が携わる可能性がある対人支援現場を見学し、事前事後指導と併せて公認心理師の仕事内容への理解を深める	
研究科目	研究領域	健康科学演習	
		健への探究	
	卒業論文	卒業論文	研究成果をまとめ、一つの成果物として仕上げる
		健康科学研究	

※ 教職科目は、別に開講